

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年2月1日

事業所名 コペルプラス新大阪教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	1	プレイルームが広い方が子供の活動がしやすい。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2	3	保育所等訪問支援事業と兼務をしている関係上、配置上は問題がないが配置人数に斑があるため、人員については改善していく必要がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2		全職員で行っているが、理解に差が出ているので各個人に合わせた業務改善を検討していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	3		毎年保護者等の意向等把握し、翌年につなげるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		会報は行っていないが、ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	1	実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			研修に積極的に参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		法人で決められたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		1	法人本部にて立案チームを設けている。事業所からの提案も行っている。
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			多くの課題を準備しているため、固定化しないように行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	2	状況に応じての課題設定は行っていない。

	(14) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			個別療育、集団療育を提供しているため、状況に応じた計画の作成は心がけている。
	(15) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		集団療育の際は、職員間で打ち合わせを行うように心がけをしている。
	(16) 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3		終礼時に全体で行っている。細かい所は各自児発管へ報告を行っている。
	(17) 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2		支援後に必ず記録は残している。大事な部分は別途引継ぎ、ケース会議等にて行っている。

	(18) 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2		中間の見直し時に必要と判断されたり、保護者、本人から新たな要望があった場合は見直しを隨時行っている。
	(19) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7	1		
関係機関や保護者との連携	(20) 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			児発管が主に参画をし、教室業務等に合わせて指導員も参画している。
	(21) 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	3		送迎を行っていない為、日常的な情報交換は行っていないが、必要時に情報共有
関係機関や保護者との連携	(22) 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3		医療的ケアが必要な子どもを受け入れたことはないが、その場合は連携体制を取れるようしている。
	(23) 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2		児童発達支援事業所とは情報共有を行っているが、保育園や幼稚園とはおこなったことがない。
関係機関や保護者との連携	(24) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4		主に小学生の利用のため、障害福祉サービス等への移行は行っていない。
	(25) 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3		必要に応じて研修に参加をしている。
連携	(26) 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	4	現状行っていない。

	(㉗) (地域自立支援) 协議会等へ積極的に参加しているか	6	2		
	(㉘) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		2	療育終わりにフィードバック時のみではなく、療育中にも保護者の方とコミュニケーションを図ることで、共通理解を深めている。
	(㉙) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6	1	今年度春先まで行っていたが、現在は行えていない。これからは行っていく予定。
保護者への説明責任等	(㉚) 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			変更等あった場合は必ず、教室内に掲示し保護者への周知も行っている。
	(㉛) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	1	経験の浅い指導員もいるため、その場での助言等を行えない場合がある。その場合は必ず児発管に報告をし児発管からの助言と支援の提案を行っている。
	(㉜) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	5		父母の会はないが、保護者会は毎年行っている。
	(㉝) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備とともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			苦情があった場合、当日中に職員への共有を行い、次の利用時まで対応を行っている。
	(㉞) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	5	1	定期的なものは行えていない。年間行事や必要時に発信している。
	(㉟) 個人情報に十分注意しているか	8			
	(㉟) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			
	(㉞) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	4	地域に開かれた事業運営は行えていない。
非常時等の対応	(㉟) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		月 1 回の全体ミーティングで職員へ周知をし、保護者へはマニュアルを掲示している。。
	(㉟) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年 2 回実施している。
	(㉟) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			虐待防止委員会を定期的に行っている。

	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		身体拘束を行うような支援は行っていない。やむを得ない場合は保護者とも十分に話をして放課後等デイサービスに記載をする。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	2	食事の提供はしていない。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1		都度共有をしている。